

大日寺護摩堂棟札と

地鎮入用の覚え

竹中進

(会員 佐伯市木立)

文化五年(一八〇八)六月再建、願主佐伯藩主九代毛利高明(後に高誠)により建設された。時の大日寺十三世法印依教京師は、学深く真言密教の奥義を極め(大阿闍梨、京都仁和寺総法官の信任を得て勝功德院兼務住職を務め、ほとんど京都に留まることが多かった。

護摩堂本尊として不動明王・金伽羅・誓多伽を納めた。仏師は京都の春日作である。

地鎮に入用の覚書と上棟の際に納めた棟板の写しとを紹介する。

棟板は縦九五_{サシ}、横二一_{サシ}。地鎮入用品は五宝・五香・五葉・五穀・その他の品物を、大日寺看坊依祥より普請奉行竹中瀬兵衛尉正福に依頼した。



上：大日寺 左手が護摩堂



右：護摩堂の不動明王3尊

池鎮入用之覽見

五寶 金銀銅鐵水石
 五香 沉香白檀
 五藥 白朮
 五穀 稻
 堅瓶 一口高寸折敷二枚
 幣串 長壹尺五寸
 同 長壹尺五寸 四十九本
 杭 長廿五尺 貳十八本
 (一) 長壹尺 貳本

枚原紙 壹帖
 青紙 黃帝赤紙
 板紙 三帖
 小繩 百八十寸
 御菓子 菓物之類
 赤飯 御鏡
 土器 三十
 人夫 貳人
 石護摩堂地鎮祭御入用御座儀
 六月廿一日
 大日子
 依

地鎮入用之覽

五宝 箱一枚
 金銀 目方五分
 琉璃 目方五分
 水晶 目方五分
 真珠 目方五分
 五香 白檀
 沈 同
 薰陸 同
 安志 同
 五藥 白木
 白木 同
 人參 同
 甘草 同
 五穀 稻
 大麦 同
 菘豆 同
 胡麻 同
 堅瓶 一口高廿五寸 折敷二枚
 幣串 長廿貳尺五寸 五本
 同 長廿壹尺五寸 四十九本
 破竹 二而
 杭 長廿三尺 貳十八本
 へら 長廿壹尺 貳本
 杉原紙 壹帖
 青紙 黃帝赤紙
 板紙 三帖
 小繩 百八十寸
 御菓子 菓物之類

赤飯七合焚 御鏡五重 御酒一對 燈油貳合
 土器三十 人夫貳人 白蜜目壹匁
 右護摩堂地鎮祭御入用二御座候
 六月廿一日 大日寺看坊依祥(落款)

棟札一

護摩堂本尊不動明王・金伽羅・誓多伽 春日作也
 ◎皇帝後水尾院御宝壽・大將軍秀忠公御治世・東光山大日寺覺王院者慶長十三戊申年草創開山秀乘法師。
 ◎當国御先祖高政公從御代之御祈願所也・草創開山從慶長十三戊申年至今文化五年戊辰年既經貳百一年也。
 ◎今上皇帝朝仁君御宝祚・征夷大將軍家齊公御治世・再建大願主當国城主毛利美濃守藤原朝臣高明公御代造立之者也。
 ◎社奉行明石条左右衛門尉貞曉
 當寺十三世法印依教京師御室御山内般若尋掛錫問
 地鎮鎮檀導師看護依祥以師傳率六口伴侶殊致精誠令鎮物上棟式了。
 文化戊辰十坊宿月曜甘露金剛日。

棟札二

奉造立護摩堂一字・天長地久護持・城主武運長久・領内

豐饒・除災與樂・寺院靜謐

◎聖王天中天・迦陵頻伽聲・大檀那・大梵天王・今上皇

帝聖壽萬安・哀愍衆生故・我等今敬禮・大願主帝積天

王・征夷大將軍白齡千秋。

◎右之意趣者奉為一天四海安穩護持・城主殿下武運長久

御息災延命・城中堅固・御家中安全・領内豐饒・風雨順

時・五穀成就・增長福壽・萬難消除・万民快樂・無邊諸

願悉地圓滿・奉再建造立御祈願堂也。

◎再建大願主 當国城主毛利美濃守藤原朝臣高明公

奉行 竹中瀨兵衛尉正福

普請係 野村惣右衛門尉春堅

棟梁 久貝元七良義定

◎東光山大日寺覺王院十三世現住傳燈大阿闍梨依教

知事傳授阿闍梨依祥謹而誌了。敬白

